

平成30年度 サービス評価結果への対策（共通項目）

評価基準：岐阜県福祉事業団サービス評価基準

施設名：ひまわりの丘第二学園

| 「適切な福祉サービスの実施」 |   |
|----------------|---|
| 1              | 利用者本位の福祉サービス  |
| 1-(1)          | 利用者を尊重したサービス提供について、共通の理解を持つための取組を行っている。   |
| 評価基準等          | <ul style="list-style-type: none"> <li>①利用者尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施する。</li> <li>②身体拘束や虐待防止等について職員に周知徹底する。（婦人保護施設は二次的被害防止を含む）</li> <li>③利用者を尊重したサービス提供に関する基本姿勢を踏まえた取組を明示する。</li> </ul>                                  |
| 評価者コメント        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・重度の障害者に対して人権に配慮し、利用者からの声なき声を汲み取ろうとしている姿勢がうかがえた。</li> </ul>  |
| 評価への対策等        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員ひとり一人に「職員倫理要領」や各種マニュアルを配布し職員会議や、朝礼時に読み合わせを行います。</li> <li>・身体拘束について月1回の委員会にて必要性等を検討していきます。また、虐待防止研修を受講し復命研修を行い職員への周知徹底を行います。また月1回のセルフチェックを行い、チェック表がマンネリ化しないように工夫していきます。</li> </ul> |

|         |  |
|---------|--|
| 1-(2)   | 利用者満足の上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。  |
| 評価基準等   | <p>①利用者満足に関する調査を定期的に行う。<br/> ※(児童養護関係)<br/> 利用者の意向に配慮する調査を定期的実施する。</p> <p>②利用者満足を把握する目的で、利用者への個別の相談面接や聴取、自治会・利用者との懇談会を定期的に行う。<br/> ※(児童養護関係)<br/> 利用者の意向を把握する目的で、利用者への個別の相談面接や聴取等を定期的に行う。</p> <p>③利用者満足を把握する目的で、利用者会や家族会等に出席する。</p> <p>④(障害関係)<br/> 利用者の意思疎通の状況に応じて、家族からの聴き取り等を行う。</p> <p>⑤利用者満足(意向)に関する担当者を配置する。</p> <p>⑥利用者満足(意向)に関する調査等で把握した結果を分析・検討するため、利用者参画のもとで検討会議等を設置する。</p> <p>⑦分析・検討の結果に基づいて具体的な改善を行う。</p> <p>⑧(婦人保護関係)<br/> 利用者の心の内面的な満足のため、母子関係の調整などにも配慮する。</p> <p>⑨(婦人保護関係)<br/> 的確な分析・検討を実施するため、スーパービジョンの体制をつくる。</p> |
| 評価者コメント | <p>・日々の日課、年間計画に沿って様々な利用者満足につながる計画が実施されているが、今後さらに利用者の笑顔が見られるよう内容、方法の工夫を期待したい。<br/> (例えば壁やドアに色をつけるなど視覚的な支援。本人の好きな色を見つける等)</p>  |
| 評価への対応等 | <p>・月1回のイベント(誕生会、季節の行事)等、ご利用者の楽しみとなるよう計画、実施します。また、その際に撮影した写真をプレイルームや玄関に掲示し、ご利用者が目で見ても楽しめるよう工夫していきます。</p>   |

|         |  |
|---------|--|
| 2       | サービスの質の確保  |
| 1-(1)   | 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。  |
| 評価基準等   | <p>①サービス実施計画（個別支援計画）に基づいたサービスの実施記録をとり、職員間で常に情報を共有する。</p> <p>②サービス実施の記録内容が職員によって書き方に差異が生じないように、記入方法をマニュアル等で統一するなどの工夫を行う。</p>  |
| 評価者コメント | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画に基づく支援、サービス担当者会議にて目標の確認、サービスの方法を再検討するなど常に実施状況が職員間で共有できている。</li> </ul>  |
| 評価への対応等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画を意識した記録が残せるよう計画を一覧表にして記録用のパソコンの近くに提示し確認がしやすいようにします。また、目標についての記録には●を付け明確にします。</li> <li>・サービス担当者会議を実施し、半年毎にモニタリングを実施し再検討していきます。</li> </ul> |

|         |  |
|---------|--|
| 1-(2)   | 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。   |
| 評価基準等   | <p>①利用者個々の状況等に関する情報は、マニュアルに基づき個人ファイルを作成して職員間で共有する。</p> <p>※利用者の状況等に関する情報、サービス実施に当たり留意すべき事項、実施に伴う状況の変化、アセスメントやサービス実施計画（個別支援計画）の実施状況、利用者に関わる日々の情報等</p> <p>②定期的にケア（ケース）カンファレンスを行って詳細な情報を共有化する。</p> <p>※ケア（ケース）カンファレンスは、生活や医務との連携など部門横断的に対応</p>                  |
| 評価者コメント | <ul style="list-style-type: none"> <li>・他職種、看護師や栄養士とも連携し個別支援計画に沿った情報、サービスの共有化がなされていると感じた。</li> </ul>   |
| 評価への対策等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援マニュアルを作成し、職員間で共有出来るようひとり一人に配布します。また朝礼時に読み合わせを行い確認をしていきます。</li> <li>・ユニット会議等でケース検討を行い、必要に応じて看護師、栄養士に出席してもらい他職種間での連携を図ります。</li> <li>・利用者個々の情報については、P C（システム、共有フォルダー）で管理しいつでも閲覧出来るようにしており職員間で情報の共有を行います。</li> </ul> |

障がい福祉施設専門分野サービス評価調書

平成31年1月15日

施設名 岐阜県立ひまわりの丘第二学園

委員名 香村委員、蔵澄委員

| 区分                                 | 項目                                 | 平成28年度<br>評価 |   |   | 平成30年度<br>評価 |   |   | 評価者のコメント   | 施設の対応等  |
|------------------------------------|------------------------------------|--------------|---|---|--------------|---|---|--|---|
|                                    |                                    | A            | B | C | A            | B | C |  |   |
| IV<br> <br>2<br><br><br><br>日常生活支援 | (1) 食事サービス全般について<br>(11分類29項目について) | A            |   |   | A            |   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者本人の立場に立った食事提供がされており、このままのサービスを維持されることを希望する。</li> <li>月1回の選択メニューを月2回に増やすことが出来ないか、検討いただきたい。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>ご利用者の楽しみにしている食事について、これからも楽しいひとときを提供できるようにしていきます。</li> <li>選択メニューの機会を増やすことについて、栄養士や給食委託業者と相談していきます。</li> </ul>                            |
|                                    | (2) 入浴サービス全般について<br>(14項目について)     | A            |   |   | A            |   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>同姓介助のパーフェクト化を目指して、職員数を増やすなど管理者は対策を講じてもらいたい。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>入浴日は男性支援者を多めに配置します。</li> <li>職員数の増員は法人全体の課題として提案していきます。</li> </ul>   |
|                                    | (3) 排泄サービス全般について<br>(17項目について)     | A            |   |   | A            |   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>トイレが改修されて、大変立派になり良いことである。</li> <li>利用者の排泄リズムを把握するなど、個々の健康管理に心を砕いていることは重要なことで、続けていって欲しい。</li> </ul>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>トイレの改修工事が終了しましたので、綺麗なトイレを維持できるよう、環境整備に努めていきます。</li> <li>看護師と協力して、今後も健康管理に留意していきます。</li> </ul>  |
|                                    | (4) 衣類サービス全般について<br>(14項目について)     | A            |   |   | A            |   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者本人からの意思表示が難しいので、父兄の方とのコミュニケーションをとり、季節に合った服など着ていただくように対応してほしい。</li> </ul>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>ご家族の来園時に、懇談する機会を多く持ち、ご本人の好みの衣類や季節にあった衣類の補充を依頼します。面会などが無いご家族には、電話連絡等で確認を行います。</li> </ul>  |
|                                    | (5) 健康管理サービス全般について                 | A            |   |   | A            |   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>排泄の項目でも記載のとおり、利用者の毎日の健康状況のチェックなどをしており、このまま続けて欲しい。</li> <li>施設全体の防災について、定期的に避難訓練を続けて欲しい。</li> </ul>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>1日3回のバイタルチェックを継続し、ご利用者の異変を早期に察知できるよう努めます。また看護師と協力し今後も健康管理に留意していきます。</li> <li>月1回のユニット毎での避難訓練、年1回ひまわりの丘全体で行われる総合防災訓練を継続し実施します。</li> </ul> |

|         | 平成28年度 |   |   | 平成30年度 |   |   |
|---------|--------|---|---|--------|---|---|
|         | A      | B | C | A      | B | C |
| 第三者評価結果 | 5      | 0 | 0 | 5      | 0 | 0 |